

令和6年度 学校教育目標及び学校経営方針

学校教育目標

「自ら思考して行動することができる生徒の育成」

～輝き合い、育ち合う、魅力あふれるコミュニティ・スクール～

目指す生徒像

「夢や希望をもって、よりよい生き方を考え、行動できる生徒」

「学ぶことや発見することの楽しさを知り、自ら学びに向かう生徒」

- (1) 自他を大切に思いやる豊かな心を持つ生徒 <自尊感情>
- (2) 目標を持ち自ら学ぶ意欲に満ちた生徒 <学力向上>
- (3) ルールを守り正しく判断し、行動できる生徒 <規範意識>
- (4) 集団の中で支え合い、磨き合い、高め合う生徒 <人間関係>
- (5) 国際的に広い視野に立って行動できる生徒 <ボランティア>

目指す教職員像

京都御池中学校の教職員としての「情熱」「使命感」「誇り」をもち、
「チーム京都御池」の一員として教育実践できる教職員

- (1) 自己の資質や能力・力量を高めるための努力を怠らない教職員
- (2) 教職員相互が互いの立場を理解し、助け合い、時には厳しく指摘し合うことのできる教職員
- (3) 「チーム京都御池」の総合力の強化を図り、個性を活かしながらチームワークある教職員

目指す学校像

「笑顔 (smile)」 : みんなが笑顔いっぱいになれる学校

「輝き (shine)」 : みんなが輝ける学校

「協力・協働 (scrum)」 : みんなが力を合わせて取り組める学校

学校経営方針

明治2年に誕生した番組小学校（本校は日本最初の小学校と言われている柳池校のあった場所に立地する）の流れをくみながら、地域の方々の大きな英断により、幾度かの統合を経て平成15年度に開校した本校は、大きく4つの特色（京都御池中学校の宝物でもある）を持つ学校である。この特色は他校には見られないものであり、この4つの特色を最大限に活かした教育活動を実践していくことが、京都御池中学校の目指す「質の高い教育の提供」へとつながるものと考えている。

特色の1つ目は、平成16年に立ち上げた「けやきプロジェクト（学校運営協議会）」の設置である。5つの中学校が統合を繰り返し誕生した学校であり、その経緯を踏まえ、地域の方々の学校や子どもの教育に対する思いや願いを真正面から受け止め、学校経営や教育実践に活かしていくことが重要である。コロナ禍の際には、多くの関連する取組が中止を余儀なくされたが、今年度は一部事業の見直しも含めながら、子どもたちと地域との交流を積極的に進めていきたいと考えている。

2つ目は、平成19年度より本格実施した「OGTプロジェクト（現在はOGGTプロジェクト）（5－4制小中一貫教育）」である。校区にある御所南小学校・御所東小学校・高倉小学校の6年生が本校校舎の京都御池創生館で学んでおり、3小学校と本校で施設併用型の5－4制による小中一貫教育を実施し、質の高い教育を提供する取組である。小中交流授業や縦割りの委員会活動、そして4校教職員による協同授業研究などを通じて、「読解力」を基盤とした9年間の小中一貫カリキュラムの構築を行っている。

3つ目は、「読解力の育成は学力向上の基盤である」という認識のもと、教科・領域ではもちろんのこと、中学校では総合的な学習の時間も活用しながら、小学校1年から中学校9年までの9年間を見通しての読解力の育成に取り組んでいることである。具体的には読解力育成のために必要な力として、「課題設定力」「情報活用力」「記述力」「コミュニケーション力」の4つの力を設定し、互いに関連させながら主体的に学ぶ力の基盤となる読解力を育成していこうとすることである。この取組により授業改善・工夫を図り、さらに質の高い教育が提供できるものと考えており、一定の成果を上げてきていると捉えている。OGGTプロジェクトでは、この4つの力を切り口に授業分析・授業研究をする部会を組織し、授業研修など研究活動を行っている。今年度は、11月に合同の研究発表会を行い、研究成果の一端を発表する予定である。学習指導要領の趣旨を実現するために、「読解力の育成」を目指したこれまでの研究成果を基にしながら、「主体的、対話的で深い学び」の実現を図っていきたい。

4つ目は、「京都御池創生館（多世代交流の複合施設）」の活用である。中学校校舎を含むこの施設に、おいけあした保育園や老人デイサービスセンター、商業施設などがあり、その中で生活するすべての人々を「おいけファミリー」と呼び、様々な学校行事や普段の学校生活において、自然な姿で多世代交流が進められ、豊かな心の育成に大きく関わっているものと捉えている。

学校教育目標として掲げている「自ら思考して行動することができる生徒」とは、学習活動を含む全ての学校生活において、生徒一人一人が「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を着実に身につけ、豊かな人生を切り拓き、持続可能でよりよい社会を創造していく存在となることを意味している。その実現のために、OGGTが唱える「未来に輝く小中一貫コミュニティ・スクールの創造」という小中一貫教育目標の下、21世紀型の教育として、全国に発信できるような学校力をしっかりとつけていかななくてはならないと考えている。そして、4校による小中一貫教育をより円滑に進めていくために、「信頼・協力・団結」をキーワードに、4校の校長間の連携をより確かなものとして、4校一体となった組織として運営できるよう取組を推進していきたいと考えている。